

11. 7. 26

88, 用

さ無て身て辛田或下しひも冬如方珍長て満をりも亦寒き風にはば清華等の高國馬會夕陽!! 樂をし樂ゆる晴
 天しく夢を時苦闇の水際には厭演さし味悪入るた蓋機之異敵標伺珍々雲の游風高閣に閉ちの成し打て陝國昇々
 汚慰勵碎雜をにはな清柱は烈二我にを性之々茶欄をを鯛の候差酌の限合暮く頼尙前確非問けもも將級民第!!
 酒安にき獲犯群山堀ををか肌伏等備俱の専帥和眼無聯に上! 前玉如を曲の四はには甲を確成大血は旅諸慨
 せも從骨なし新河り穿建或をの欲き細有と香都をせけ醉に紗に續く遊物境周と日遊しの高歩ひ履を榮を君な
 なる無ひもた荒にに堪ちてひ時炎燭醒布らしに心眩し天ひ時躍進に前し我しをしよれ今月吟翻は高樓欄楯よき
 空く宙粉る地從強防水雷はく執考魁をゆて耳聴しめ女買しなり鎮樓川條雅圍て不齊日に! 翻劇秘り者!! や
 氣口何に響を事撰を道線家がなはに着る日なを柳夜仙は内飾一繕右づの秘繕雪早案は蕭朝花想にてを俺見!!
 と得のし徳開しの笑をなを如も買醉しれを娘醉睡夜鏡口外り悪なたる汗詩! 表の厨舞ふににに極べ無扉よ夫
 の貧樂てな翠端苦つ引引建き駒灼ひ大樂流しし花のを光山輝し輝かに面さ聲に右を響き南戲伴みん限し強れ
 困物も終る! 風にききて騰とを羊履なるまめて紅衣に河藤れと奪車を! 園傍様にの昨啼れ僂て! に偉大!!
 どはな日良海泳穿絶雷道寒もた妓高受彼し紗忌命右冬のなばし術馬掙るはきな瀧宮日の月酒! 撫摩園地
 と樂續く聲田上雨び車力道のをせるに掛け働め敢袖舞には珍者佳一! にた内織りつかは花夜演地た取し民上
 と養神休々をを舞或なをを浩霜す機戯に幸か日華風獨待湘味し人頭入兜榮! 外門! 蕭開園に翠伎直るし!! 族に
 不と善と造變多ひ浩知布り雪或くる坐福す夜纏ににら南に垂石しつ! 輝!! 山鏡理修き藝戲終る林障磨資は立
 良寒もしりじのほりし設或をはが一しとし遊洋翻映せに徳烟かれて從彼彼水細導遊車の白觀に鼓使本弱て

爲、雨き何せ如てに縛と絆す律銜開に! 等資判うのる恨衣弄に離んか不よをなを歩汚れて過な意目なり
 め萬子のてのん、收はし行下、創放、道を太頼? 志野を無せ濡れ刑す稱响厭く風求武きて流ざしらるる壁
 には骨を間戰爲か自敵無、爲に萬控のを掛應歐家を念十迄拘食らし、堪●生勝世、しめ踏れ響れさ難ざ庶可破
 にはを失な場に、己嚴形口と呻解に頭得力をき喘飯ふののき、れ、衣の藏なき自蔽、て障、かす、精るぎきれ
 草地ひ跡にないよなののを吟の制にを造て紹よて基十名終、不は露窓る、殺ふ兒、氣す、寒只るる物鏡
 樂に、驛送りや利権物は問し怨せ、と操り自縛て絞魂石も身界自破との故病なには俗宛息、械に僅問物は
 の委又せりも國生め銷無は來をを暴欲り、己力止にやと如榮燈然れ世鬼、床り衣削界か奪而て流か日も典有
 めはせはし鞭吐家相聊を形する飲れ力すて國に階き至、化ら苦にた、まど斯に結た寒をもな嗚叫かにの無にる
 めし父め様かの反か施の、やむ如をれ異家都級すら今せぬの流る食或なく呻神しに衍専、響ばん其食し盡可
 目におろ、叱し爲しも! 轉自!! 何背ど唐を合と、ば、! 雜中離社ははりな吟異、流傳家内のんごのを、しき
 は自捕父佗てめた假重を由長、と景もを製よ提櫻、何、草に願會盡家、りせ常窮きすの破如とす日貯書て物
 己へをし、なる借稅符と牟殘もと確行造き携等睡處維の生沛のきを或ししが死、犬たくするをふ夜己は
 庸の子失て我り聞せをめ排月忍爲せ彈よ! 注し疑派を多生死し風、失はな者原し食妻の骨削れも糊る勞に賣
 榮利をひ痛等、體す賦、利!! なるの、恣律、慢滑かのえして浪困ひぎりを因たふは如出而て涙すの暢一り
 心欲或或烟をい出、課手を言る能、雨自まをな々迷不し、に窮職ロと意なるに痛くて垢擊盡る餘し物余
 ののしは彈欺や現一! 足吏論鞭は法、由、製我る、と遇き長弊纏死をチ時降り者物床生、に枯きに裕てのど

べゆ伊人すめに等す止け何見る自れは、奸に正齋せきつごに●蹶、く死生義つなとて振の共すり等よて夜睡
 きる持道、非もるめ辟の世!! 由天捕此後隱義起し眠ん云自好起斃ば生命人てる離海つ一に。は能は!! る
 も富すの只抛き神をよ心要、我發のへ賊のれのせ者りざへ由しあれ家存亦道服權も水て途今死此長は、我能
 の、たるた民つやの止争をか奴等屋下、と團徒百士しどにくど拘衆てを亡彼全從力、を龍をはかのきき悲がは
 な幸耳め兼汗!! 子め開抱在款のなはれかは事はめて陪擊も東人れ後省の等くす、か汲車擇潔? 上歳、情兄す
 り福矣にの血我なよをさるの寒明之職國囑責憤、なんもり鐘、ののちみ秋の顔る殘よみにばよ生尙月唯胸弟、
 はだ盡自體等り弟止事!! 待氣害れ合家を白、必しを其た反こ止さず跡履を忍る盡對んかか追、憤に達胸
 何全天し由軀は彼弟め端回遇、す皆に爲の激我す者亂のめ充とむ愛り瞞! 得な無さふ、? 實忍淚通の中
 故入よ可獲其金等相よを故の飢る我非稱したし必やと打中、心をのを、に盡する法んが假秋夫繼ぶりに因に
 類りき得の力も殺特求に維俄國家泣すてめてら辱てしに遠長切決捨同委し、國など如令水れ續能咽、循草
 苦の授正の何抑亦發權の特特、境な極、天に世す醒も、我にき望心て志し、我家るすく、を同にはぶ口卑命
 共か義爲者力神す階相權物爲何り慨良下左を!! せ、如在死迫しを、諸、萬擲に法る、襟鞘志はざの有屈を
 めにりのめを階のる級開階た養の、す民を右捨●し途何り滅害て以身君將人つは律に蜺蠶捕諸怒るみれな描
 何享し時、も殺子かをぐ級る不要人、や繕せて高めに、しの止てをよにて我、貝貝のひ君よを。どるく
 故業あ軀正有のな、補やをが良か類●志行ら山十ん死探耳た爲ま慨忘願我自!! 等繕たる斧、よ能忍●もをや
 時にすらを燃せたる我佐!! 財律、たの夫士すれ野愛、滅かをりめす然れば等由正督暴り以を其!! はべ我書見幾

檄!!